

第1回中津川市リニアのまちづくり推進本部
第1回中津川市リニアのまちづくりビジョン策定委員会合同会議
議事要旨

日時 平成24年6月1日(金) 14:00～
場所 中津川市文化会館 2階多目的研修室

[主な議題]

1. 運営方法について
2. リニア中央新幹線計画に対する取り組み状況について
3. ビジョン策定にあたっての論点と視点等の整理について
4. 今後のスケジュールについて

[主な意見]

- 地域づくりは計画の時点で、しっかりと意見を持ち、JR等に要望していくことが重要である。
- ビジョン策定には、駅アクセスや地場産品の活用など課題に挙げていただきたい。
- 住民の日常の動き、通勤通学だけでなく買い物や会合などどういう動きがあるのか交流構造を把握しておくことが重要だ。
- リニアや車両基地に関する詳細の情報があるとビジョンが考えやすくなる。
- 中津川市は観光、農業、林業、製造業など資源が豊富であり、こうした資源を活用できる地域づくりをしていきたい。
- 学力レベルの高いところに定住する傾向があると聞く。中津川市の学力はどのくらいなのか知りたい。
- これからの15年、地域づくりをどうやって進めていくか、地域活性化に向けた活動をしながらか、ビジョンを策定していかないといけない。
- 早い段階から地域の人たちと議論を深めて進めていくことが重要である。
- 地域活性化に向けては、東京からいかに来てもらうかの視点が重要と考える。
- 首都圏では水に対する安全への関心が高い。中津川市には水資源が豊富にある。これを首都圏に向けてPRし、企業誘致、定住に繋げることに注目すべきである。
- リニア駅の立地は中津川市内であるが、恵那市にも近い。中津川市と恵那市が連携していく必要がある。
- 下呂方面及び豊田市方面とのアクセスが大事である。また、19号(瑞浪・恵那間)の四車線化や中央道のスマートIC化など、恵那市と中津川市が連携していかないといけない。
- 中京学院大学の参画については、女性・若者委員会の中で、学生を含めて中京学院大学と連携して進める。
- 首都機能移転など将来のイメージがわかる社会構想ものが示されると一歩踏み込んだ議論ができる。